

**T I C A D 閣僚会合 閉会式**  
**2022年3月27日**  
**林芳正外務大臣スピーチ（仮訳）**

2日間にわたり議論に貢献いただいた皆様に感謝。私も鈴木副大臣も、有意義な意見に大変感銘を受けた。

1日目は経済について議論した。

多くの国から、コロナ禍からのより良い回復のため、民間の投資が不可欠である旨提起があった。同じ問題意識を共有しており、心強く感じた。日本は、デジタルも活用しつつ、アフリカへの民間投資を促進する具体的な取組を引き続き進めていく。

また、一部の国から、債務問題への対応の必要性についても言及があった。国際ルール・スタンダードを遵守した開発金融がアフリカの持続可能な発展のために必要であることを改めて強調したく、引き続き、アフリカと協力していきたい。

2日目は社会及び平和と安定について議論した。

強靱かつ持続可能なアフリカ社会の実現には、人間の安全保障の理念に基づき、人間一人一人を大切に「人」への投資を始め、保健、教育、環境分野を軸に、成長の「質」を向上させる息の長い取組を進めることが重要で、かかる認識は広く共有されていることが確認できた。

ワクチンへの公平なアクセスの確保や生産能力強化の必要性について多くの声があったことに留意している。この関連で、日本による COVAX ファシリティへの財政支援やワクチン供与などのアフリカでのワクチン接種支援への謝意や日本がこの分野を引き続き主導することへの期待につき御発言をいただいた。

日本としても、新型コロナ自体の収束にはアフリカを含む世界全体でこのアクセスを確保することが重要だと考えており、コールドチェーン整備などによりこれを後押しするとともに、保健分野への幅広い取組を推進し、将来の健康危機への備えも後押ししていく。

また、気候変動問題などの地球規模課題への早急な対応の必要についても提起があった。日本はアフリカで喫緊の課題である気候変動に対し、日本の技術を活用しながらアフリカの取組を後押ししていく。

新型コロナが新たな不安定要因を作り出す中、民主主義の定着、法の支配と制度・能力構築の推進に取り組むことの重要性の提起があった。脆弱な立場に置かれた人々の保護、人道・開発・平和の連携の促進、紛争の予防・解決における若者及び女性の積極的な関与を奨励する。

また、持続可能な海洋秩序の重要性についても提起があった。法の支配に基づく、自由で開かれた海洋秩序は、世界全体を益する。日本としても、アフリカにおける海洋法執行能力の強化に引き続き取り組む。

今日の国際情勢において、国連安保理の改革が早急に必要であることは明らかである。安保理の議題の半分はアフリカに関するものであるにも関わらず、アフリカの常任理事国が存在しないのはおかしい。これは歴史的な不正義である。安保理を改革し、国際の平和及び安全の維持の責任を共に担いたい。日本はアフリカ共通ポジションを明確に支持していることを改めて強調したい。

最後に、この機会に、T I C A D 8のロゴを発表できることを光栄に思う。

この後、ジェランディ外務大臣から御紹介いただくが、このロゴは、チュニジアが、T I C A D 8ホスト国として、意匠を凝らして作成したもの。

様々な広報機会に活用し、T I C A D 8に向けた機運を盛り上げていきたい。

また、この2日間の議論の要点をまとめた議長サマリーを追って配布させていただく。

提起された論点や課題を礎石として議論を深め、8月27-28日に開催予定のT I C A D 8の成功につなげていきたい。